

交通・消費生活プログラム（F）設計表

目標：F1011 交通（交通機関を利用して目的地に行くことができる）

F1012 消費生活（消費生活についての知識を身につけ、日常必要な物が買え、サービスが利用できる）

時期	サブプログラム（達成細目標） [コマ数]	学習内容（学習項目） ※関連項目	活動の進め方 ※備考
初期	<p>①日本の生活のイメージ化 (バス、電車の利用や商店見学を通じ、買い物事情や乗り物事情等、日本での生活のイメージを持つ→今後の学習の下地作り)</p> <p>○徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を知ると共に、教師引率の下、電車やバスを利用して目的地へ行ける</p> <p>○商店の形態の違いや利用上の注意点、商品に関する様々な表示の意味を知ると共に、引率教師の補助の下、見たい商品のある場所を探せる</p> <p>[7]</p>	<p>○歩行者と自転車利用者の交通ルール</p> <p>○バスの利用法（後ろ乗り・前乗り、時刻表の見方）</p> <p>○電車の利用法（路線図・運賃表の見方、切符の買い方、電車の種類と時刻表の見方、駅の構造）</p> <p>○商店の形態の違いと利用上のマナーや注意事項（デパート、スーパー、コンビニ、個人商店） 含：消費税</p> <p>○店内表示の見方（各階の商店案内、店内構造、試着室等）</p> <p>○商品表示の見方（サイズ、製造年月日、賞味期限、内容量、品質、価格表示）</p> <p>○商店で売場を尋ねる I 「～ありますか」「どこですか」</p>	<p>実習に向けた事前指導で、予備知識を与えた上、実習地で具体物を前に効果的な指導必要に応じてテキスト情報編の予習を指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習説明（含：アンケート） ・中文解説＋実地指導 ・中文解説＋（VTRバス利用） ＋実地指導 ・中文解説（VTR電車利用） ＋実地指導 ・中文解説（VTR買い物） ＋実地指導 ・実地指導 ・中文解説＋実地指導 ・R P <p>※上記の他、直前注意、実習 F B</p>
交通のステップ評価：電車バス利用に関するタスク（実習地での観察結果）シートの正答率			
初	②自力での行動達成に向けての姿勢作り		※毎時で実習地名導入

期	<p>(最小限度の日本語力とコミストを活用して何とか目的を達成できるという姿勢を作る)</p> <p>○事前にルートなどの情報(乗り換え駅、いくつ目の駅で下車)が与えられれば、①で体験したコースを基点に、数人でバス、電車を乗り換えて、最寄り駅まで行き、そこから通行人に道を尋ねて、目的の商店へ行くことができる。</p> <p>○道に迷った時や事故に遭遇したときの対応ができる I</p> <p>○商品や商店に関する知識を補充すると共に、買いたい物のある場所を探して、選んで買える</p> <p>○身近なサービスが利用できる I 後払い制のレストランでメニューで選んだ料理を注文できる</p> <p style="text-align: right;">[11]</p>	<p>○乗り換えホームを尋ねる「～何番線ですか」</p> <p>○道を尋ねる「～どこですか」「まっすぐ行って、右/左」「信号/つきあたりを、右/左」</p> <p>○こんな時どうする(道に迷った時、電車の行き先確認、バス電車の乗り越し等)</p> <p>○見分けにくい日用品に関する商品知識(シャンプー、リンス、化粧品、洗剤)</p> <p>○広告の見方(値引き、期間など) ※含: 電卓の使い方</p> <p>○商店で売場を尋ねる II 「～ありますか」「～どこですか」</p> <p>○金額を尋ねる「いくらですか」</p> <p>○流通機構と価格のしくみ</p> <p>○レストラン利用の知識と会話「すみません、これ～人お願いします」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習説明 ・会話練習「VTR 電車利用」 ・会話練習「VTR 道聞き」 ・R P ・中文解説+小実習(実物) ・解説 ・こんな時どうするR Pを含む ・会話練習 ・中文解説 ・会話練習(VTR レストラン利用) ※上記の他、会話復習、直前注意、実習、F B
<p>消費生活のステップ評価: 買い物の知識ペーパーテストの正答率 交通のステップ評価: 実習課題(道聞き、乗り換え)の達成度</p>			
初期	<p>③事前の情報収集、行動達成力の強化 (行動達成のために必要な情報を得る方法を知ると共に、遠距離で電車の利用を復習する)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・実習説明

中	<p>○前もって行き方を尋ねて（地図を書いてもらって）目的の駅まで電車を乗り換えて行ける</p> <p>○道に迷った時や事故に遭遇したときの対応ができるⅡ</p> <p style="text-align: right;">[9]</p> <p>④問題解決のための技能の向上 <i>（日本語力とコミュニケーション・ストラテジーの蓄積によって、多様な場面での解決力を養う）</i></p> <p>○身近なサービスが利用できるⅡ</p> <p>○釣り銭の間違いに対処でき、品物の返品交換ができる</p> <p style="text-align: right;">[2]</p>	<p>○交通経路を尋ねる「～どうやって行きますか」 所要時間と費用を尋ねる「～いくらですか」 「何分ですか」</p> <p>○ホームを尋ねる「～何番線ですか」（復習） ○目的駅を確認する「～まだですか」</p> <p>○こんな時どうする （切符を買い間違った時、下車駅を間違えた時、仲間にはくれた時など）</p> <p>○写真の現像と焼き増し</p> <p>○商品の返品や交換 ○釣り銭の間違い</p>	<p>・小実習 ※この時期の情報収集タスクは 難度が高いため数人で分けて 達成できればよしとする ・会話練習</p> <p>・R P ※上記の他、直前注意、実習 F B</p> <p>・会話練習</p> <p>・R P</p>
<p>交通のステップ評価：小実習で獲得した情報の正確度 実習課題（乗り換え）の達成度 交通・消費生活ステップ評価：中間テスト（ロールプレイ）での達成度</p>			
後 期	<p>⑤退所に向けての直前準備 <i>（これまでの学習の要点を復習すると共に、今後の経済生活で必要となる知識や技能を補充する）</i></p>		

<p>○前もって交通経路、所要時間、費用等を尋ねて、簡単な計画を立て、目的地まで、電車を利用したり、通行人に道を尋ねたりしながら行ける [5]</p> <p>○金融機関の種類や利用法を知り、1, 2度自立指導員等の付き添いがあれば、次からは自力でその金融機関が利用できる</p> <p>○身近なサービスが利用できるⅢ</p> <p>○契約上のトラブルを回避するための留意点を知る [5.5]</p>	<p>○交通経路を尋ねる「～どうやって行きますか」(復習) 所要時間と費用を尋ねる「～いくらですか」 「何分(どのくらい)ですか」</p> <p>○銀行と郵便局の利用法 口座を持つことの利点(預貯金、公共料金の自動振替、クレジットカード) 口座の種類と開き方、預貯金の出し入れの仕方(窓口利用とキャッシュカードの利用)</p> <p>○付き添いの依頼 ○ノンバンク利用の危険性</p> <p>○喫茶店の利用</p> <p>○美容院や理髪店の利用 ○クリーニング店の利用、機器の修理</p> <p>○印鑑の重要性、訪問販売の利用で気をつけること</p>	<p>・小実習 ※オプションで実施(含:実習説明、会話復習、直前注意、実習)</p> <p>・中文解説(VTR 銀行利用)</p> <p>・実習(実地指導) → FB</p> <p>・実習 ※銀行見学时</p> <p>・会話練習 ・会話練習 ※自学[センターテキストの活用法]として</p> <p>・中文解説(VTR色・ な訪問者) + RP</p>
---	---	---

交通・消費生活の達成度評価：日本事情調査(消費生活関連問題)の正答率
学習者の自己評価はどうか